



# ふるさとだより

## 新年のごあいさつ



新年おめでとうございます。

皆様方には、心新たな初春をお迎えのことと存じます。

今年も宜しくお願い申し上げます。

昨年は県からの補助金によっていくつかの事業の進展が図られました。

また、駒沢女子大学生によるジョセササイズは NHK 始め県内のテレビ

で放映され、富士ソフトの方々には3回もボランティアにおいでいただき、大学生や富士ソフトの皆さんと交流を深めることができ、私達に大きな刺激を与えてくださいました。

今年は県の補助事業の最終年度ですので、富士山頂上の祠の整備を重点に進めながら、多くの方々との交流を深め地域の発展・充実を図ってまいります。

ふるさとだよりも皆様方の感想や提言をいただき充実した紙面作りを心がけてまいります。

会長 長谷沼清吉

## 富士ソフトの皆さんと千個のスイセンの球根植え



11月3日(土)、富士ソフト(株)8名の応援をいただき、小雨の降る中、地区住民と一緒に千個のスイセンの球根を植えました。

改良された町道漆窪線小清水～漆窪間のおよそ650mの路肩に植え付けしました。

この作業は、3年前から小清水側より「花いっぱい運動」として進めてきましたが、改良工事も完成し、今回の球根植えで、ほぼ漆窪側に到達しました。

今春にはきつときれいに咲いて、通行される皆さんのこころを癒してくれると思います。

また、この間の花の咲く道路をやがては、「〇〇ロード」と命名することも考えております。



### トピックス①

#### ◆古峰神社参拝を再開しました◆

火の神様といわれている古峰神社の参拝を集落の講中で参拝していたのですが、途絶えていました。このたび、再開しようということに話がまとまりました。今年は、長谷沼政雄さんと貝沼茂雄さんが代表で参拝に行きます。古き良きものは受け継ぎながら、ふるさとを守っていきたいと思います。

## 町道漆窪線改良工事落成祝賀会が催されました

長年の夢であった、町道漆窪線の小清水・漆窪間の改良工事(約650m)が5年間の工事の末、今年11月によりやく竣工しました。

今まで幅が3mと狭く、急カーブや急こう配でしたが、今度は幅が5mとなり、カーブやこう配も緩和され、また、冬期間は常時除雪となり、利便性がぐっとアップしました。

そこで、11月15日(日)に小清水集会所において、小清水・漆窪両自治区の主催により伊藤町長や工事施工業者を来賓に迎え、盛大に落成祝賀会を開催しました。みんなで工事の完成を祝うとともに、出席者相互の親睦を深めたところでもあります。



改良された町道漆窪線



小清水自治区長のあいさつ



歓談・懇親

## 小清水自治区の収穫祭

恒例である収穫祭を11月22日(日)開催し、部落住民18名ほどの参加で行いました。今回は今年1月より導入される「マイナンバー制度」の内容について、町役場の出前講座をお願いし、細かいところまで説明を聞きました。

その後は、もち・そばのごちそうを食べながら、収穫への感謝と喜びを分かち合いました。前日より準備をされた方々には感謝・感謝・感謝です。



### トピックス②

#### ◆狸石(むじないし)の水はおいしいぞ!◆

狸石の清水の水質検査をしました。硬度や蒸発残留物など、5項目の検査結果全ておいしい水の条件をクリアしました。

しかし、残念ながら大腸菌が検出されました。ただし、ほとんどの湧水から大腸菌は検出されるとのこと。心配な人は沸かして使うといいそうです。



## 漆窪自治区の収穫祭

11月23日(月)、ガードレールの撤去や漆窪別れ付近の草刈りで汗を流した後、集落民が全員集まって、区長宅で収穫祭が開かれました。

事前に相談して献立を考えるのも楽しみの一つで、新米の餅や炊き込みおこわ、かぼちゃサラダ、白菜と豚肉の重ね蒸し、なめこ汁、漬物などがテーブルいっぱいになりました。手作りの料理に舌鼓を打ちながら、和気あいあいと話に花を咲かせました。



## 陳ヶ峯の陣跡と富士山泥浮登山口駐車場の整備が進んでいます

陳ヶ峯峠頂上の陣跡整備は、森林組合に小さな木の伐採をお願いし、歩きやすいように整備をはかりました。陣地の様子が見え、ここで激しい戦いがおこなわれたと思うと、戦やその前後の祖先の苦勞がしのべれます。

現地に会津若松市の石田明夫さんによる陣跡の絵図面と説明文の看板を設置します。

近くに中世の城跡(館跡)と思われるものが見つかりました。雪が消えたら専門家に調査してもらいます。

富士山に最も登りやすいコースが泥浮口なので、年々登山者が増えています。その方々から、駐車場整備が望まれていましたので実施しました。

杉の伐採の遅れがあり年度内の完成を目指して取り組んでいます。



陣跡の整備



陣跡の絵図



泥浮登山口駐車場の整備

### 有難うございました

貝沼保信さん(小清水出身)より、ふるさと応援金をお寄せいただきました。ありがとうございました。事業活動に役立たせていただきます。

### 小清水・漆窪集落の予定

- 1/15 漆窪 歳の神
- 1/16 小清水 歳の神
- 1/24 漆窪 春会
- 2/6.7 駒沢女子大アクティボランテア
- 2/13.14 西会津町雪国まつり (おらだづが歳の神設置)
- 2/21 富士山スノートレッキング

### 西会津国際芸術村のイベント

- 12/2～ 森のはこ舟
  - 2016.2/14 アートプロジェクト 2015 「西会津・三島 成果展」
  - 2/20～3/13 フォトクラブどんぐり 「飯豊山写真展」
  - 4/16～5/中旬 「櫻田美佐子写真展」 (新郷平明出身)
- ホームページ [nishiaizu-artvillage.com/](http://nishiaizu-artvillage.com/)



ふるさとへの



富士地区出身者の方々からお寄せいただいた  
昔の思い出や近況を紹介します。  
みなさんのおたよりをお待ちしております。

随筆『私にとっての富士山』

執筆者 山口英次氏(漆窪出身)

～ 逃げるが勝ち ～

今からおよそ六十年の前の出来事ですが、鮮明に記憶しているお話です。

その日は朝から爽やかな晴天でした。中学1年生か2年生で学校は夏休み中、二人で富士の山へ登ろうとなり、現在の漆窪登山口(Aコース)、当時は道らしき跡がある程度で、登り始めて急に勾配がきつくなり、両脇の木の枝をつかみながら力いっぱい足を踏ん張り、一步一步前進したことを記憶しております。道でない所を登ったのかも知れません。

私ともう一人は1つ年下の福地忠雄君(現在は海外移住)で、頂上に行って木に登り、体は大の字姿勢でゆさゆさ揺らし振子の原理で左へ右へと風を切り、その隙間から山都方面を眺めるのが楽しみで登ったのです。登山中、足を踏ん張って苦しいときは、木登りの楽しみを思い出し我慢しました。木が止まりそうになればまた、ゆさゆさと揺らしその力に比例して風の色も強く感じられ、隙間の幅も大きくなり、眺めも倍増する理に適った遊びです。あの頃の遊び道具のすべては、身近な自然にあるものをうまく利用したものでした。

程なく登りつめ、ちょっと休めるところで振り向くと小清水集落、そして高目、荒木集落の家々が眺められる絶景スポットがあります。空は青く澄み渡り、はるか遠くまで見られ気分爽快でした。その後、早く頂上にたどり着きたい気持ちが高まり、歩行速度は以前よりはるかに速くなりました。雑談しながら歩くと山幅が段々と狭くなり、立ち止まれば両サイドの山幅が見ることが出来る馬の背と言われる長さ20メートル位の稜線を過ぎると平坦地、見上げれば頂上の杉木立の梢が見えました。ここまで1時間位はかかったでしょうか。

間もなく頂上だと思つと、もうすぐ木登り出来るぞと充実感でいっぱいでした。そして薄暗い杉林に入った途端に、相手を威嚇するような重い響き声、何…ウオーの声、聞いたような気がした。又もウオーの声、想定外の出来事で体は一時硬直状態だったが、ウオーの声とほぼ同時に姿は見なかったがクマだと決め付けた。相談した訳でもないのに忠雄君も判断をしたようです。怖くなりその場には居られず直ぐ逃げることにしか考えなかった。今来た道は即帰り道です。すぐ走って、走って、走った。逃げるしかないと全身全霊持てる力すべてを使って逃げる事だけだった。

ところで、どれ位の時間で下山したかは定かでないが、気がついたら登山口に立っていた。その頃は里山の手入れもよく、陳ヶ峯の畑(富士の山のふもと)でも大根や人参を作っていた。里山はよく管理されていた関係かサルやクマが出た情報はあまり聞かない中で、私たちに苦しめたあのクマはどんなクマかは今でも未確認のまま。

…… 皆さん、二人は一目散に逃げましたが、

このような想定外の出来事に遭遇したらどうしますか？ ……

幸い怪我もなく、他にクマの目撃者がいないと言う事で新聞に載りませんでした。

編集後記

昨年12月は一昨年と違い、雪の少ない日が続いた年末でした。一昨年12月の雪や昨年の干ばつを考えると、気候の変動が大きくなっている気がします。干ばつの年は昨年だけになって欲しいと願いながらの新年です。富士の郷の活動も皆さんに支えていただき進んでいます。今年もよろしくお願ひいたします。(貝沼)

皆様からの情報を富士の郷メール [fujinosato@nct.ne.jp](mailto:fujinosato@nct.ne.jp) または編集委員までお寄せください。